

(別紙)

パブリックコメントの意見及び国土交通省の考え方

代表的な意見の概要	国土交通省の考え方	
	延べ提出者数	
① ペンキ等による表示義務づけ関係	200	
○ペンキ等による表示義務づけに賛成。	156	タクシー類似行為(以下「白タク行為」という。)を防止するため、随伴用自動車に自家用自動車を用いる場合について、ペンキ等による表示を義務づけることとしました。
○マグネット板だと取り外しができ、白タク行為が行われてもわからない。	4	
○自家用自動車を随伴用自動車に用いることができなくなる。	22	今般の改正は、随伴用自動車に自家用自動車を用いる場合にペンキ等による表示を義務づけることにより、白タク行為を防止し、自動車運転代行業全体の適正化を図るものです。つきましては、修理や点検等により車両が不足し、代車が必要となる場合であっても、計画的に修理や点検等を実施いただくなど、皆様の御理解と御協力を御願いたします。
○修理や点検で代車を用いることができなくなる。	9	
○修理や点検により代車を用いる場合に限ってはマグネット板による使用を認めることはできないか。	1	
○利用者の「白タク行為」の違法性に対する意識が変わる必要があるのではないか。	3	平成24年3月に公表しました「安全・安心な利用に向けた自動車運転代行業の更なる健全化対策」に基づき、業界団体等において、利用者及び飲食店関係者に対する白タク行為の違法性についての啓発を行っていくこととしております。
○家族が乗車している場合に「白タク行為」とみなされるおそれがある。	2	今般の改正は、随伴用自動車以外の用途に用いることを禁止する趣旨ではなく、引き続き、ご家族のご利用等の自家使用の用に供していただくことは可能ですので、ご家族が利用されている場合に「白タク行為」として検挙されることはございません。
○「白タク行為」の防止に向けた今後の対応方針を明確にして欲しい。	1	今般の改正により、随伴用自動車に自家用自動車を用いる場合にペンキ等による表示の義務づけを行うこととして

○ペイント化をしても「白タク行為」はなくなるのではないのか。	1	おりますが、これは「白タク行為」撲滅に向けた一助として講ずる措置であり、ペンキ等による表示の義務づけによる効果を見極めつつ、必要に応じて「白タク行為」の撲滅に向けて必要な施策の検討を行ってまいります。
○認定を受けず、自動車運転代行業を営む者が増加するのではないのか。	1	
<b>② 自動車運転代行業の適正化に向けた御意見関係</b>	161	
○最低車両台数の導入その他の認定基準の厳格化が必要。	43	いただいたご意見については、今後の自動車運転代行業の業務の適正化に関する検討の参考とさせていただきます。
○取り締まり及び罰則の厳格化が必要。	27	
○随伴用自動車について、随伴用自動車として特定できるよう自家用自動車（「白ナンバー」）ではなく、事業用自動車（「緑ナンバー」）としての登録等が必要。	19	自動車運転代行業は、利用者に代わって自動車を運転する役務を提供する事業であり、利用者を運送する事業ではないため、事業用自動車としての登録を行うことは困難ですが、引き続き、新規認定時等における随伴用自動車に係る届出や今般の改正によるペンキ等による表示の義務づけにより、随伴用自動車の特定を行ってまいります。
○料金制度の見直しが必要。	21	利用者の料金システムに対する不透明感を払拭するため、利用者の求めがあったときは領収証の発行を行う旨を標準自動車運転代行業約款（平成14年国土交通省告示第455号）に定めることを検討するとともに、自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律（平成13年法律第57号。以下「自動車運転代行業法」という。）第15条に基づく代行運転役務の提供の条件の説明義務の徹底等の対策を行うことの検討を進めてまいります。
○料金メーターの使用の義務づけが必要。	3	
○随伴用自動車の後部座席を撤去又は2シーター車両の使用の義務づけ等を行うべき。	14	随伴用自動車の後部座席を撤去することは、白タク行為の抑制に一定の効果があるとのご意見があることは承知しておりますが、これによっても白タク行為を必ずしも排除できない場合があ

		ることから、今般の改正において、随伴用自動車に自家用自動車を用いる場合にペンキ等による表示の義務づけを行うことにより、白タク行為の防止を図ることとしたいと考えております。
○社会保険への加入を義務づけることが必要。	3	社会保険への加入等労働関係法令に基づく規制については、所管官庁において行われておりますが、所管官庁との連携も含め、今後の自動車運転代行業に関する検討の参考とさせていただきます。
○乗務員証の掲示の義務づけが必要。	1	いただいたご意見については、今後の自動車運転代行業に関する検討の参考とさせていただきます。
○自家用自動車を随伴用自動車に用いることを禁止すべき。	1	
○日中の飲酒運転に伴う事故を防止するため、地域で連携するなど時間帯を問わず、運転代行役務の提供を受けられるよう必要な行政の支援をお願いしたい。	1	自動車運転代行業法の対象とする自動車運転代行業は、主として、夜間に飲酒した者に代わって運転代行役務を提供するものですが、これは夜間以外の時間に運転代行を行うことを禁止しているものではありませんので、日中においても、運転代行役務の提供をしていただくことができます。
○いわゆる「タクシー代行」は自動車運転代行業法の適用対象となるのか。	1	タクシー事業の用に供する自動車（タクシー）を随伴用自動車として用いる場合にあつては、自動車運転代行業法の適用対象となりますが、旅客をタクシー事業として、タクシーに乗せて運送し、旅客の所有する自動車を自宅まで陸送するいわゆる「タクシー代行」については、自動車運転代行業法の対象とはなりません。
○その他自動車運転代行業に関する改善意見	27	いただいたご意見については、今後の自動車運転代行業に関する検討の参考とさせていただきます。
合 計	361	